

Press Release

2026年4月3日

ドイツ最大の LNG 受入ターミナルにポンプを供給

日機装株式会社（以下「日機装」）は、連結子会社グループである Clean Energy & Industrial Gases グループ（以下「CE&IG グループ」）が、ドイツ・シュターデに建設される同国初の陸上式 LNG 受入ターミナル向けに、低圧・高圧合わせて約 30 台のサブマージドモータポンプを供給する大型契約を獲得したことをお知らせします。

CE&IG グループは、Hanseatic Energy Hub が建設中のプロジェクト向けに、高圧ポンプと低圧ポンプの両方を供給します。ターミナルは 2029 年の稼働開始を予定しています。

同ターミナルには、欧州最大規模となる 24 万立方メートルの LNG タンク 2 基が設置され、総出力能力は 21.7 GWh/h（約 2,000 万世帯分の電力に相当）です。第 1 期フェーズでは LNG、バイオ LNG、合成天然ガス（SNG）に対応したインフラを整備し、将来フェーズでは水素キャリアとしての役割を担うアンモニアの取り扱いも予定しており、水素燃料への移行を支援します。

CE&IG グループは、主幹 EPC コントラクター※の Tecnicas Reunidas より、低圧ポンプ 20 台と高圧ポンプ 9 台の供給契約を受注しました。納入は 2026 年を予定しています。

CE&IG グループ EMEA 地域担当バイスプレジデント Ole Skatka-Jensen のコメント

「Hanseatic Energy Hub がシュターデで進める LNG 輸入ターミナルは、LNG やグリーンガスの供給、さらに将来の水素エコノミーに向けた準備の面でも、ドイツのエネルギーの未来にとって極めて重要なプロジェクトです。欧州における CE&IG グループのプレゼンスと、主要なエネルギー転換プロジェクトへの貢献は着実に拡大しています。当社は LNG はもとより、水素・アンモニア分野においても機器供給とサービスサポートの豊富な実績を持っており、ドイツおよび欧州の低炭素燃料への移行に向けたこの重要プロジェクトに参画できることを誇りに思います。」

CE&IG グループについて (URL: <https://www.nikkisoceig.com/>)

日機装の連結子会社グループである CE&IG グループは、世界中で極低温機器・ソリューションを提供するリーディングカンパニーです。低炭素エネルギーや産業ガスに対する市場の変化に対応し、革新的な製品と協働型のソリューションでニーズに応えています。グループ全体で 20 カ国以上に拠点をもち、1,800 名以上の従業員を擁しています。

※EPC コントラクター：プラントや大型設備の建設プロジェクトにおいて、Engineering（設計） Procurement（調達） Construction（建設）の各工程を一貫して請け負う企業

<日機装 会社概要>

会社名： 日機装株式会社
本社所在地： 東京都渋谷区恵比寿 4 丁目 20 番 3 号恵比寿ガーデンプレイスタワー22 階
創業： 1953 年 12 月 26 日
代表者： 代表取締役 社長執行役員 加藤 孝一
事業内容： 産業用特殊ポンプ・システム、医療機器、航空機部品等の製造・販売
URL: <https://www.nikkiso.co.jp/>

本件に関するお問い合わせ先

日機装株式会社 コーポレート本部 経営企画部 広報グループ

TEL： 03-3443-3717 E-mail： nikkiso-pr@nikkiso.co.jp